

CONTENTS

- 2 情熱の奥州人
- 4 特集 放射性物質への対応とこれから――
- 10 市政懇談会開催報告
- 16 第4回市民と議員の懇談会
食生活改善推進員養成講座の受講者募集
- 17 受給者証・保険証更新のお知らせ
国民年金保険料の免除申請
- 18 結 - ゆい- ～ 30 の地区振興会による協働のまちづくり実践事例～
- 19 市の出来事から
- 20 まちの話題
- 22 つながれ 広がれ NPOの輪
- 24 子そだて広場
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 25 消費生活相談Q&A
わが家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 26 キラリ人輝く
夢トーク
- 27 クラブ紹介
ぽんたのつぶやき
- 28 暮らしの情報
- 32 奥州遺産

〈今月の表紙〉



第11回県消防協会胆江地区支部消防競技会が7月1日、時折小雨の舞う中、前沢いきいきスポーツランドで開催されました。

小型ポンプの部、ポンプ車の部、部隊訓練の部の3部門に24の分団が出場。真剣な表情で訓練の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。

小型ポンプの部では胆沢区の分団が優勝。7月27日に開催される県大会で上位入賞が期待されます。



ボールを手に取り熱心にバッティングを指導

梅雨の晴れ間、古城小学校のグラウンドに子どもたちの元気な声が響く。スポーツ少年団・前沢ソフトボールクラブを指導する本城和茂さんは、子どもたち一人ひとりの動きに目を配り、櫛を飛ばす。高校時代は甲子園を目指した和茂さん。強豪校で猛練習に明け暮れ、3年生の夏には念願の甲子園出場を果たした。2回戦まで進み、走・攻・守三拍子揃った外野手として活躍。2試合で三塁打3本を放った。社会人になっても野球を続けたが、娘の成長とともに現役選手に終止符を打つ転機を迎える。

平成20年、小学4年生の長女がソフトボールのスポーツ少年団に入団。最初の年は応援団として子どもたちを見守ったが、その後は指導者の道へと進む。2年目にはコーチ、3年目には監督に……。現在、2年生から6年生まで13人の団員に指導し、年間5大会に出場している。5月26日の県小学生男女ソフトボール大会では、惜しくも初戦敗退。その週から次大会に向けて、熱の入った練習を再開した。「社会人野球を辞めたことを今では少し後悔しています」と野球への情熱は冷め切っていない。しかし、今はソフトボールの公認審判員としても、多忙な日々を過ごす。「あいさつをしつかりするよう指導しています。もっとソフトボールを好きになってもらいたい」。その思いを胸に、子どもたちと一緒に今日も白球を追い続ける。



22

礼儀正しく、そして楽しく それが上達への道

本城 和茂さん(37歳)

前沢区白山字石持



ほんじょう・かずしげ◎
昭和49年生まれ。トヨタ自動車東日本(株)岩手工場勤務。スポーツ少年団指導者認定員。家族は妻と娘3人、父、母、祖母